

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利
活動法人 サポートクラブあすなる

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

社会科見学(リフトバスに乗って日帰り旅行)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

利用者の家庭環境、が多様化しており、遠方に出かけることにも個人差が見られます。また学齢児の頃より少しずつ集団活動に慣れ 幅広い社会体験を積むことで 将来の自立につながり かつ介護者(主に母親)がいなくても安心して遠方に出かけられることは介護負担の軽減にも役立ちます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

移動時間 2 時間を限度とし、マンツーマンでサポーターがつき食事、排泄等の支援を行いながら楽しい 1 日を過ごします。往復はリフト付きのバスを使い乗降の負担を少なくし、現地でも友達同志や施設側の人 また一般の人との交流や社会体験の場となるように配慮し、自宅に帰ってから表情や言葉で楽しさを親に伝えられるようなことを望みます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

昨年と同じ目的地ではあるが、内容的にかなりバージョンアップした注目度の高い観光地であるため、安全確認や移動方法についても事前打ち合わせを数回行いました。

利用者を小グループに分け 昨年度の経験者を責任者とし 現地の動物ショーや食事場所の移動を効率良く考えました。移動中もクイズ形式で現地の情報を伝え、興味を持たせるように工夫をしました。

その結果、感想の中にクイズの答えなどが多くでていました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

昨年の感想を聞き 今年度の参加者も増えリフトバスに加え法人所有の車も使い 多人数の行事となりました。

そのため 安全面の打ち合わせを充分に行い 介助方法など事前の確認もできたことが成功に繋がりました。

また、サポーターを各方面に呼びかけ 学生や社会人など経験者が多く集まり 恵まれていました。

その後も利用者のこどもからは思い出の話がたくさん出てきて、楽しい会もつくることができました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

